

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	夢んぼ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	8年 6月 4日 ～ 8年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの発達段階に応じた活動プログラムを組み、ただけでなく将来を見越して必要な療育を個別また、集団生活の中で行っています。	活動によって年齢や発達段階でのグルーピングを行い、一人ひとりの目標や課題にあった活動を通して学びができるよう心がけています。	活動を計画する際に、細かい目的や目標をスタッフ間で考えて共有していくことで、よりご利用者様のニーズに沿った支援をしていくことができるようにしていきます。
2	プログラム以外で生活面や社会性、コミュニケーションなどお子さんの発達状況に合わせた方法で、お子さんの力が少しずつつくよう丁寧に、習慣化しながら取り組んでいます。	靴の脱ぎ履きから自分で荷物を片付けるなどの生活面や施設の階段では右側通行、外出時には目的地に行くことだけではなく、公共の場でのマナーを学ぶことなどの社会性、帰ってきたら「ただいま」トイレに行く前は「いきます」のあいさつ、助けてほしいときの言葉やジェスチャーなどのコミュニケーションなどを、日頃から意識して取り組んでいます。	スタッフ間でしっかり情報共有し、お子さんの発達段階、支援の方法を確認し合い実践し、成長に繋がるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の情報共有が時折円滑に行うことができていないことがあります。	特に勤務時間、出勤時間が違うスタッフとの情報共有ができていないことがあり、伝えたスタッフと伝わっていないスタッフがいることがあり、変更点など情報漏れがあることがあります。	全員が周知できるように、口頭での伝達、教室内のホワイトボードを活用するなど全員で共有できるように努めています。
2	夢んぼで過ごしている様子を知っていただく機会が少ない。	保護者様が来所する機会である面談時は学校に行っている時間のことが多く実際に活動を行っている様子を見ていただく機会が少ない為だと考えます。	要望に応じて活動の場を見ていただくことができる場を設けたり、インスタグラムで普段の様子を発信しているのより知っていただけるように伝達をしています。発信回数も増やしていきます。また、面談以外でも送迎時や電話などで普段の様子を伝えていきより安心して通っていただくことができるよう努めています。